

問1 津田梅子ら女子留学生が同行した岩倉使節団の派遣について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島公立入試 類似）

1. 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること
2. 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約を締結し、領土問題を解決すること
3. 大正デモクラシーの風潮の中で、普通選挙法の制定に向けた欧米の選挙制度を調査すること
4. 鎖国体制を維持するために、外国船を撃退するための軍事技術を秘密裏に導入すること

問2 1867年、徳川慶喜による大政奉還が行われた直後に、朝廷が発した宣言について説明した文章として正しいものはどれですか。この宣言は、徳川氏による政治を終わらせ、天皇を中心とする新政府を樹立することを目的としていました。（2024年 香川公立入試 類似）

1. 王政復古の大号令により、摂政や将軍などの旧来の職を廃止し、天皇を中心とする新しい政治体制の樹立が宣言された。
2. 廃藩置県により、全国の藩を廃止して県を置き、中央政府から知事を派遣して地方を直接統治する体制が整えられた。
3. 五箇条の御誓文により、広く会議を興し万機公論に決することなど、明治政府の新しい政治の基本方針が示された。
4. 版籍奉還により、各地の諸侯が所有していた土地と人民を天皇に返還させ、中央集権的な国家の基盤が作られた。

問3 明治時代初期の香川県西部で起きた「西讃農民騒動」などの一揆では、新政府が進めた改革への不満が爆発しました。この騒動の背景の一つとなった、国民に兵役の義務を課した制度の説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 香川公立入試 類似）

1. 四民平等の考えに基づき、身分に関わらず国民から兵を募る近代的な軍事組織の構築を目指した制度
2. 土地の所有者に地価の3%を現金で納めさせることで、政府の財政を安定させることを目指した制度
3. 満6歳以上の男女がすべて小学校で教育を受けられるようにし、国民の知識水準を高めることを目指した制度
4. 旧武士の特権であった帯刀を禁止することで、特権階級をなくし社会の近代化を推し進めた制度

問4 1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、約1年半にわたって繰り広げられた、新政府軍と旧幕府軍による一連の内戦を何といいますか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. 戊辰戦争
2. 西南戦争
3. 日清戦争
4. 応仁の乱

問5 明治政府が新橋と横浜の間に日本初の鉄道を敷設した背景や目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため
2. 江戸時代の鎖国体制を強化し、外国人の移動を制限するため
3. 全国の藩主が参勤交代を行うための移動手段を確保するため
4. 北海道の石炭を効率よく東京へ運ぶためのルートを確立するため

問6 1868年から翌年にかけて日本国内で展開された戊辰戦争の経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。
2. 鹿児島県の士族を中心とした勢力が、徴兵制に反対して新政府軍に対して大規模な反乱を起こした。
3. ペリーの来航をきっかけとして、全国の諸藩が協力して江戸幕府を倒すために軍を動かした。
4. 天皇から政治の権限を返された徳川慶喜が、再び政権を握るために諸外国の軍隊を呼び寄せた。

問7 明治政府が発した徴兵令が、当時の社会や人々に与えた影響や背景を説明したものとして、最も適切なものを選んでください。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 近代的な軍隊を組織するために、身分に関わらず満20歳以上の男子に兵役を義務づけたが、農村では働き手を失う不満から反対一揆も発生した。
2. 武士の特権を維持するために、旧武士階級の男子のみを対象として近代的な軍事訓練を施すことを目的とした。
3. 裁判員制度の導入に備えて、国民に司法への関心を高めさせるための社会教育の一環として位置づけられた。
4. 教育基本法の精神に基づき、軍事訓練を通じて規律正しい国民を育成することを主眼として全国の学校で実施された。

問8 1870年代前半、明治政府が欧米の先進的な制度や技術を視察するために派遣した岩倉使節団には、最年少の女子留学生としてある人物が同行していました。アメリカでの長期留学から帰国後、日本の女子教育の地位向上を目指して女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設した人物は誰ですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 津田梅子
2. 樋口一葉
3. 与謝野晶子
4. 平塚らいてう

答え合わせ・解説

問1	答え 1 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること	岩倉使節団は、岩倉具視を全権大使とし、木戸孝允、大久保利通、伊藤博文といった政府の有力者が参加した大規模な使節団でした。最大の目的は江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉でしたが、当時の日本にはまだ近代的な法整備が整っていなかったため交渉は難航しました。一方で、欧米の政治、産業、教育などを直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問2	答え 1 王政復古の大号令により、摂政や将軍などの旧来の職を廃止し、天皇を中心とする新しい政治体制の樹立が宣言された。	大政奉還によって徳川慶喜が政権を朝廷に返上しましたが、倒幕派の岩倉具視や薩摩藩・長州藩の勢力は、徳川氏が依然として力を持つことを警戒しました。そこで、幕府を完全に廃止し、総裁・議定・参与の三職を置くなど、天皇を中心とする明確な新政府の枠組みを示すためにこの宣言が出されました。これにより、鎌倉時代から続いた武家政治が終焉を迎えました。
問3	答え 1 四民平等の考えに基づき、身分に関わらず国民から兵を募る近代的な軍事組織の構築を目指した制度	1873年に明治政府が出した徴兵令は、四民平等に基づき、武士の特権を廃止して国民全体から兵士を確保しようとするものでした。しかし、当時の農民にとっては労働力の喪失につながる重大な負担であり、さらに法令内にあった「血税」という言葉を「本当の血を抜かれる」と誤解したことなども重なり、西讃農民騒動のような激しい反対運動（血税一揆）が全国で発生しました。
問4	答え 1 戊辰戦争	徳川慶喜による大政奉還の後、王政復古の大号令によって権力を掌握しようとする新政府に対し、旧幕府勢力が反発したことで発生した国内最大級の内戦です。京都での衝突を皮切りに、東北、そして北海道の五稜郭へと戦火が広がりました。
問5	答え 1 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため	明治政府は、日本が近代国家であることを世界に示すために、鉄道などの交通インフラの整備を急ぎました。1872年の鉄道開通は、人々の生活や意識が大きく変わる「文明開化」の象徴となりました。これにより、それまでの徒歩や馬による移動に代わり、機械による迅速な大量輸送が可能になるという社会の変革を具体的に示す狙いがありました。
問6	答え 1 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。	戊辰戦争は、京都での鳥羽・伏見の戦いを皮切りに、北陸、東北、そして北海道へと戦地が移り変わっていきました。この戦争を通じて、薩摩藩・長州藩を中心とする新政府軍が、旧幕府軍やそれに同調する諸藩を制圧し、明治維新を推し進める基盤を固めました。選択肢にある「鹿児島県の土族による反乱」は、明治時代中期に起こった西南戦争の説明です。
問7	答え 1 近代的な軍隊を組織するために、身分に関わらず満20歳以上の男子に兵役を義務づけたが、農村では働き手を失う不満から反対一揆も発生した。	徴兵令は、国民の三大義務の一つとして位置づけられましたが、実際には家を継ぐ者や代金を支払った者が免除される規定（のちに廃止）があったり、農村の労働力が奪われることへの反発から「血税一揆」と呼ばれる激しい反対運動が起きたりするなど、制度の定着には困難が伴いました。裁判員制度や教育基本法は、それぞれ戦後や現代の制度・法律であり、明治初期の徴兵令とは関係がありません。
問8	答え 1 津田梅子	1871年に岩倉具視を代表とする岩倉使節団が派遣された際、当時6歳だった津田梅子は5人の女子留学生のうちの一人として渡米しました。帰国後、彼女は日本の女性が自立した社会人として活躍するためには高度な専門教育が必要であると考え、1900年に女子英学塾を創設しました。なお、五千円札の肖像にも採用されています。